

「アメイジングストライクフリーダムガンダム」

製作：文 / メイジン・カワグチ

第8回ガンプラバトル選手権世界大会オープントーナメントの部、いよいよ開幕！ 勿論HH編集部も今号から総力特集を組み、大会を待ちきれない読者の溜飲を下げる助けに……もしかしたら、さらに飢餓感を煽ってしまいかも知れませんが、とにかく第1回目はこの人を置いて他になし！ 3代目メイジン・カワグチが満を持して用意した新たなアメイジングは……まさにア・メイジング!!



FRONT [正面]



SIDE [側面]

■アメイジングストライクフリーダム(以下、ASF)の前・側・背面、各部に新形状のパーツが組み込まれているが、特に背面の構成が変更され、腰部のサイドアーマーの存在感も手伝い、機体全体から受ける印象がベース機から大きく異なっている。

■ウェポンバンダーにマウントされたドラグーンは可動し空戦時の機動力を高める一助となる。



REAR [背面]



驚嘆なる集大成
 MEIJIN KAWAGUCHI'S MOBILE SUIT
AMAZING
 STRIKE FREEDOM GUNDAM

1/144 SCALE PLASTIC KIT "HIGH GRADE+SCRATCH" BY MEIJIN KAWAGUCHI

■背面のドラグーンウェポンバンダーは、ベース機から大目に武装の配置を変更したことで最大の特徴と評されるだろう。これにより高速移動時の粒子抵抗を極限まで減らし、メイジンの超絶的なマニョーバを完全に具現化させるのだ。

■ウェポンバンダーの一部を胴部に取替えることで、粒子制御能力を持つ攻撃一体の大肌盾、ドラグーンシールドとして機能する。

■大会で使用されるかは定かでないが、ウェポンバンダーの代わりにHi-νガンダムグレイドのフィンファンネル(ラック)、ブレードを装備させた特別仕様も紹介しよう。偶然とは思えない完全調和したシルエットがそこにある。メイジンにとって過去の愛機などという言葉はなく、手かけたガンプラ全てが愛すべき現役なのだろう。

驚嘆なる大成

MEIJIN KAWAGUCHI MOBILE SUIT
AMALING
 STRIKE FREEDOM GUNDAM



「おじいちゃんも……」と泣く少年の顔を見れば、大抵の人は涙を流す。だが、私は涙を流さず、ただ微笑む。それは、HJに集まる多くのガンプラ愛好者から、このガンダムが「おじいちゃん」の顔であることには、何となく納得している。そして、それは、おじいちゃんも涙を流さず、ただ微笑む。それは、HJに集まる多くのガンプラ愛好者から、このガンダムが「おじいちゃん」の顔であることには、何となく納得している。

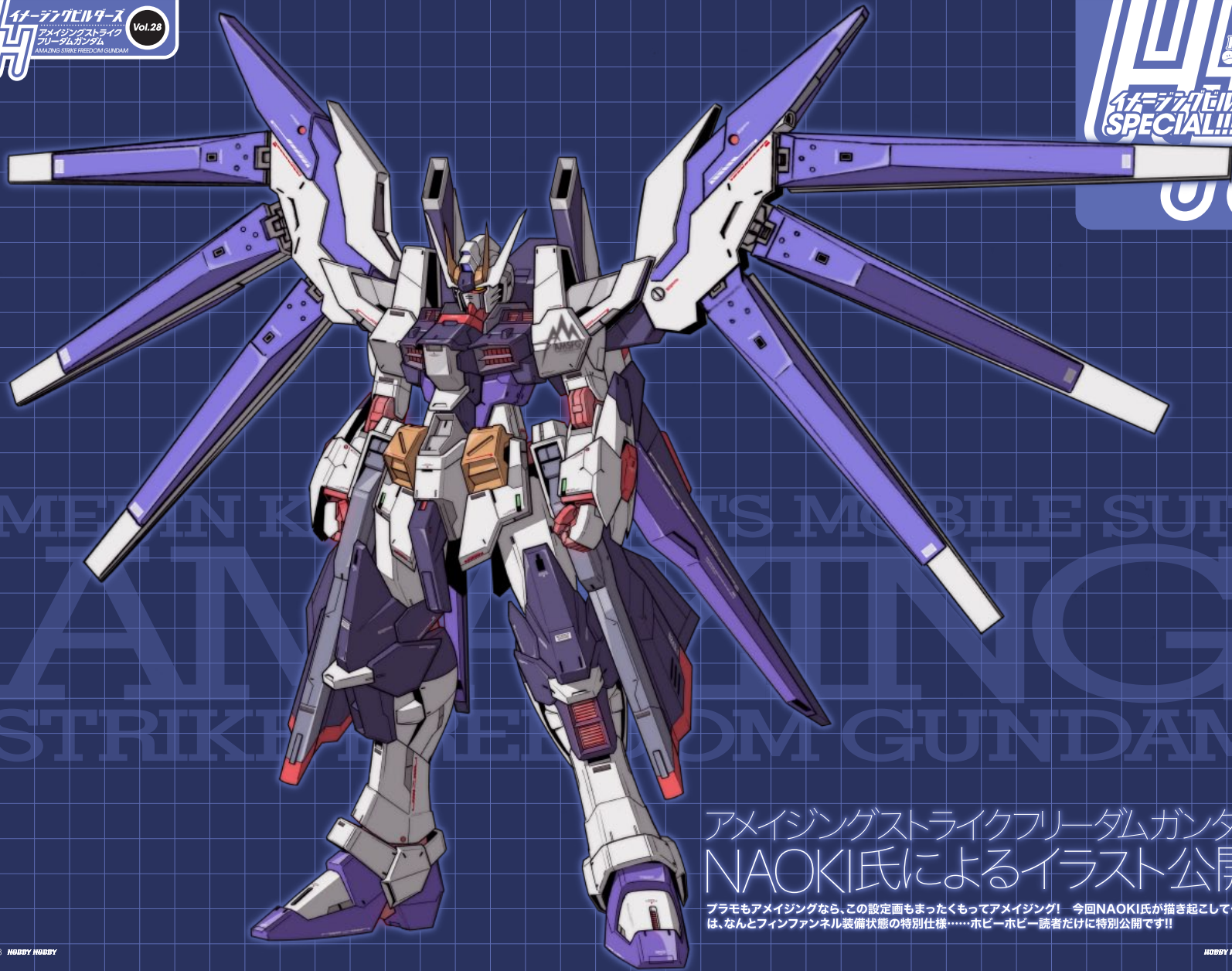
アメイジングストライクフリーダムガンダム
 製作文:メジンカワグチ

これまで手がけた機体は、宇宙世紀やアナザー問わず多様に及ぶ。それでもやはり、ものが主役機のガンダムとなればある種の特別な意気込みが沸き上がってまうのは、ガンプラ一つまりガンダムのフロンテに控える人間からすれば仕方ないことだろう。

私の場合、ストライクフリーダムというガンダムには特別な感情がさらに重なる。この機体を選択すると言いつことは、そのルーツであるストライクを、そのストライクをベースとした強力なガンプラをそれを作り、私にその力を示した素晴らしいビルドファイターの彼を、ビルドファイターの彼をどうしようも想起させるを得ないから。

互いの身も心をめくき尽くしたあの熱闘の経験が今回のベース機選定なら、因ではあるがストライクフリーダムに対して以前から強い関心を抱いていたのも確かだ。誇張無、単機で戦局を変えるほどの純粋な強大かつ圧倒的な力を備えたガンダム。ストライクフリーダムの潤沢な攻撃手段を再「オーソドックス」の冠を授けさせることで、今回の新作は第8回ガンプラ選手権に向けた私の「アメイジング」の集大成であると断言しよう。集大成の先にあるもの、それは次なるガンプラにあらず。このアメイジングストライクフリーダムは今後も進化を続け、3代目メイジン・カワグチが示す道程を傍らで照らし続け、いくそれがどのような姿になるか、読者諸氏は勿論のこと……全てを出し尽くした今、私にどうして想像は付かない。

しかし、確信はあるのだ。私のアメイジングは、皆だけでなく時に私自身をも驚嘆させてきたそれは紛うことなき必然なのである。



アメイジングストライクフリーダムガンダム、 NAOKI氏によるイラスト公開!!

プラモもアメイジングなら、この設定画もまったくもってアメイジング! 今回NAOKI氏が描き起こしてくれたのは、なんとフィンファンネル装備状態の特別仕様……ホビーホビー読者だけに特別公開です!!